入試実施ガイドライン(2023年度入試用)

2022年12月15日

入試当日は、このガイドラインに沿って安全を第一に考え運営をしてまいります。受験生の皆さまにおかれましても、各自で十分な感染拡大防止対策を行ったうえで、ご来校いただければと思います。

1 受験生の皆さまにお願いしたいこと

- (1)入試当日の1週間前からの健康状況を観察し、試験当日の朝、「健康状況チェックシート(2023年度入 試用)」に体温等、必要事項を記入してください。
- (2)マスクを着用して来校してください。また、会場内でもマスクの着用を必須とします。 ※マスクの着用ができない特段の理由がある方はお申し出ください。
- (3) 来校時、本校前の横断歩道や正門付近で密にならないように行動してください。
- (4) 校舎入口付近に消毒液を設置しますので、手指の消毒を行ってください。
- (5) 校舎入口付近で「健康状況チェックシート(2023 年度入試用)」を回収します。チェックシートを忘れた方は、健康状況の聞き取りと検温にご協力ください。
- (6) 昇降口ですみやかに上履きに履き替えてください。その後、試験会場入口にも消毒液を設置しますので、 希望する人は消毒をしてください。
- (7) 試験会場内では、大声で会話をしないでください。また、校舎内を移動する際やトイレの順番を待つ時はソーシャルディスタンス(約2m)を意識して行動してください。
- (8) 帰宅する際も、3 密を避ける行動を心がけてください。

2 感染拡大防止の取組

- (1) 来校時の密を防止するため、密になりやすい場所(横断歩道や正門付近)に職員を配置し、適切な誘導 をいたします。
- (2) 校舎入口付近や試験会場の入口、トイレ等に消毒液を設置します。
- (3) 試験会場の換気を定期的に実施いたします。
- (4) 試験会場1室あたりの人数を定員の50~70%程度とします。(約20~30名)※今後の社会情勢によって判断いたします。
- (5) 受験生が手を触れる可能性のある箇所(机、イス、手すり、ドア等) は試験前日に消毒を徹底します。
- (6) 試験問題や解答用紙等の配布物は、本校職員が直接配布し、受験生同士の受け渡しを避けます。
- (7) 面接試験時は試験官の前に飛沫防止のためのアクリル板を置き、飛沫の拡散を防ぎます。
- (8) 面接試験時は受験生と試験官との距離を2メートル以上確保します。
- (9) 急な体調不良者のための別室を用意いたします。
- (10) 別室で試験監督等の業務にあたる教職員は、適切な感染防止対策を行います。

3 事前に体調不良が判明している場合の対応

- (1)事前に体調不良が判明し通常通りに受験できない場合は、必ず在籍している中学校に連絡し、中学校の 先生から本校に連絡をしてもらうようにお願いしてください。
- (2) 体調不良の状態とその対応については次の通りです。

状態			受験可否
1	新型コロナウイルス感染症に感染し、入院中又は自宅や宿泊施設に おいて療養中の方		×
居家族等で、陽性者の の場合は検体採取日) 発症により家庭内で原 日のいずれか遅い方を 5日間を経過していな		健康状況チェックシートで 示す症状が 1 つでもある。	×
	新型コロナウイルス感染症陽性者の同居家族等で、陽性者の発症日(無症状の場合は検体採取日)または陽性者の発症により実際内で感染対策を講じた	検査キットにより、2 日目 及び 3 日目で陰性を確認し ていない。	×
	先近により家庭内で窓架対策を講じた日のいずれか遅い方を0日目として、5日間を経過していない方。 (いわゆる濃厚接触者になった方)	検査キットにより 2 日目及び 3 日目で陰性を確認し、かつ健康状況チェックシートのすべての項目の症状等がない。(無症状)	〇 (別室での受験)
3	③ インフルエンザに感染し、発熱 5 日かつ解熱後 2 日経過していない 方		(別京なの平験)
4			(別室での受験) △ (状態に応じ、別室での受験)

※「別室での受験」については、体調不良の種別により適切な室数を確保いたします。

4 来校後に体調不良になった場合の対応

来校後に体調不良となり、通常通りの受験が困難になった場合、別室で受験をしていただきます。また、対応した旨を中学校にご連絡いたします。

5 その他

公立高校と併願をする方で、通常通りの日程で試験を受けることができず、3月9日(木)追加の試験を受けることになった受験生は、入学手続きを3月15日(水)(追加の試験の合格発表日)まで延ばします。